

東京都世田谷区では環境配慮による次代へつなげる教育環境の整備、施設の老朽化対応を順次進めています。このたび東玉川小学校では体育館使用にあたっての快適さと利便性をアップするための改修工事が行われ、照明器具もすべてLED器具にリニューアルしました。省エネ、メンテナンスフリーを実現し、調光、区分制御などにより運用メリットが広がりました。

東玉川小学校は世田谷区の東端に位置し、開校69周年という歴史をもっています。2005年には文部科学省が推進する、学校が地域と一体となり、目標やビジョンを共有して子どもたちを育む「地域運営学校」に指定され学内緑化、学力向上、読書活動、家庭教育などの支援活動に積極的に取り組んでいます。



【物件概要】
所在地：東京都世田谷区奥沢 1-1-1
規模：地上2階建 体育館面積 597㎡
施主：東京都世田谷区
照明更新設計：㈱マルタ設計
照明更新施工：東都電設㈱
改修工事完成：2020年9月



体育館入口サイドから見るLED高天井器具①とLEDベースライト②③全点灯の照明。

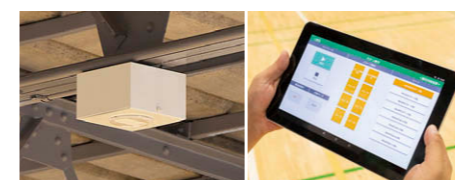
体育館にLED高天井器具とLEDベースライトを併設。無線システム採用で運用幅も拡大。

体育館の既設照明には、天井高7.45mのアリーナにHID高天井器具20台と蛍光灯器具30台、ステージに蛍光灯器具14台が設置されました。今回のリニューアルでは、アリーナに400W形金属ハイドランプ器具相当のLED高天井器具20台を5台ずつ4列に配置し、その間にLEDベースライトTENQOOシリーズ30台を3列に均等配置。ステージにもLEDベースライト14台を2列に配置しました。すべての器具に球技などによる破損を防ぐガードを付け、高天井器具には上を向いたと

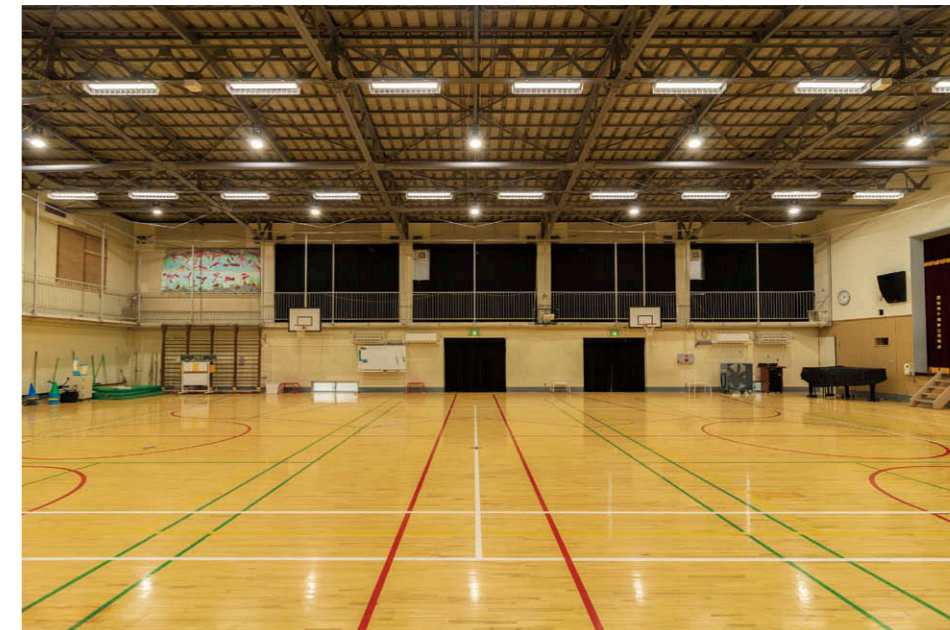
きのまぶしさを抑える拡散下面カバーも取り付けられています。体育の授業ではLEDベースライトのみの点灯で使用しますが、入学式、卒業式をはじめとする学校行事では全点灯での使用を想定し、平均照度515ルクスで明るく華やかな照明演出を実現します。特にLED高天井器具は無線T/Flecsシステムの採用でタブレット操作器によるオン・オフの操作が可能。8エリアの区分点灯と調光制御ができ、幅広く柔軟な運用を行えるメリットがあります。



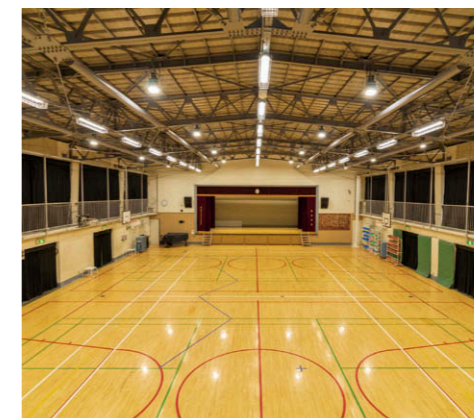
LED高天井器具① LEDベースライト②



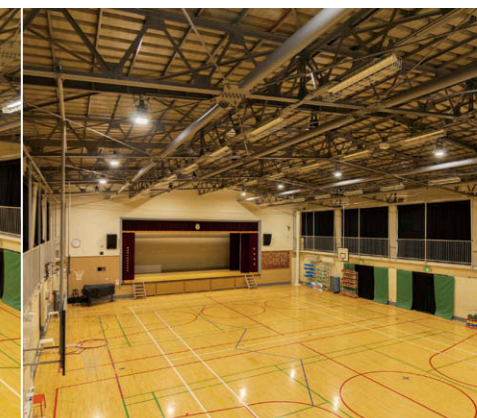
無線エリアコントローラー タブレット操作器



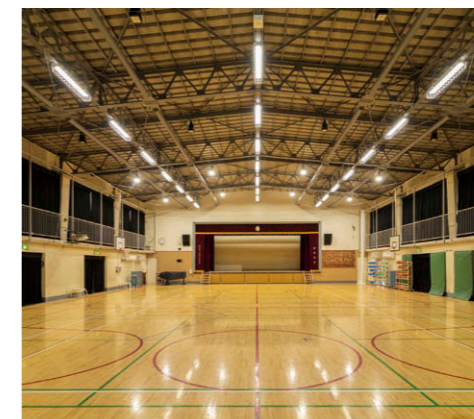
体育館の横から見たLED高天井器具①とLEDベースライト②の照明。



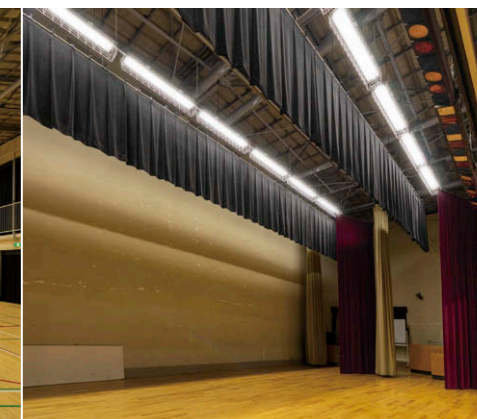
ステージ正面を2階から見たときの全点灯照明。



2階から見るLED高天井器具①のみ点灯した照明。



LEDベースライト②③と区分点灯しているLED高天井器具①



ステージのLEDベースライト③の照明。

主な掲載器具一覧				
設置場所	器具名(品種名)	形名	台数	備考
体育館	① LED高天井器具無線T/Flecs仕様(体育館用ガード+下面拡散ガード付)	LEDJ-20504N-WD9	20	消費電力：135.0W
	② TENQOOシリーズ直付形反射器具(ガード付)	LEKT415403N-LS9	30	消費電力：24.8W
	③ TENQOOシリーズ直付形反射器具(ガード付)	LEKT415693N-LS9	14	消費電力：43.0W